

令和3年度
加須市農業集落排水事業
進捗管理調書



令和4年8月

埼玉県加須市
上下水道部下水道課

目 次

1 本書の位置付け	1
2 事業概要	2
3 令和3年度業務状況	3
4 農業集落排水事業 財政の状況	4
(1) 財政状況.....	4
(2) 地方債現在高等の推移.....	5
5 農業集落排水事業 各事務事業の実績・評価	6
(1) 維持管理.....	6
(2) 加入促進.....	7
(3) 使用料収納対策.....	8

1 本書の位置付け

本書は、令和3年2月に策定された「第2次加須市総合振興計画」における、農業集落排水事業に関する各事業の実施状況及び事業実施による効果を、各成果・目標指標に対する達成度で評価し、事業の改善に資するものである。評価の基準は下表のとおりである。

評 価		達成度評価基準
1	目標を達成	当該年度に実施すべき取組みを予定通り、計画的に行い、事業実施による効果が表れた。 「効果が表れた」とは、成果指標の実績値が目標値の100%以上に達し、当該年度の目標を達成した。
2	概ね達成	当該年度に実施すべき取組みを円滑に行い、事業実施による効果が概ね表れた。 「効果が概ね表れた」とは、成果指標の実績値が目標値の80%以上に達したものをいう。 ただし、「指標の性質上、最低限達成すべき目標値を達成していない」あるいは「当該実績値が、過去2年分の実績と比較し、平均的水準に満たない」など、指標の実績値が目標値の80%以上に達したとしても、「効果が概ね表れた」とは言い難い場合、下位の評価とすることを妨げるものではない。
3	やや遅れている	当該年度に実施すべき取組みを行ったものの、事業実施による効果が小さかった。 「効果が小さかった」とは、成果指標の実績値が目標値の80%未満となったものをいう。
4	大幅に遅れている	何らかの課題があり、事務事業が滞ってしまっており、事業実施による効果が表れなかった。 「効果が表れなかった」とは、成果指標の実績値がいずれも目標値の50%未満となったものをいう。
5	未着手	何らかの理由により、事業の着手が出来なかった。
6	コロナによる影響	

指標の設定がない場合においては、「2概ね達成」以下の評価基準とする。

2	概ね達成	当該年度に実施すべき取組みを円滑に行えた。
3	やや遅れている	当該年度に実施すべき取組みのうち、いくつか遅れが生じている。
4	大幅に遅れている	何らかの課題があり、事務事業が滞ってしまっている。
5	未着手	何らかの理由により、事業の着手が出来なかった。
6	コロナによる影響	

2 事業概要

本市の農業集落排水事業は、加須地域 2 処理区、騎西地域 12 処理区、北川辺地域・大利根地域が各 1 処理区、合計 16 処理区で実施している。処理区域内の全体面積は、加須地域 124.4ha、騎西地域 378.5ha、北川辺地域 10.0ha、大利根地域 41.0ha、合計 553.9ha である。

【各処理区の概要】

地域・処理区名称	計画面積 (ha)	整備面積 (ha)	処理計画 人口	公共ます 設置戸数	総事業費 (千円)	計画日最大 汚水量 (m ³ /日最大)	供用開始 年月
加須地域							
① 串作処理区	33.7	33.7	900	231	878,000	297.0	平成 17 年 5 月
② 大越処理区	90.7	90.7	2,640	667	2,352,400	871.0	平成 21 年 6 月
小計	124.4	124.4	3,540	898	3,230,400		
騎西地域							
③ 名倉処理区	5.5	5.5	240	54	116,800	72.0	昭和 60 年 4 月
④ 外田ヶ谷処理区	25.0	25.0	1,270	293	1,344,000	387.0	平成 12 年 4 月
⑤ 下崎処理区	24.0	24.0	970	214	1,021,400	284.0	平成 12 年 4 月
⑥ 上種足処理区	39.0	39.0	1,630	335	1,443,240	486.0	平成 13 年 4 月
⑦ 中ノ目戸室処理区	45.0	45.0	1,820	364	1,538,460	558.0	平成 13 年 4 月
⑧ 鴻荃川北処理区	33.4	33.4	660	140	732,100	181.0	平成 14 年 4 月
⑨ 内田ヶ谷処理区	44.0	44.0	440	109	600,100	137.0	平成 14 年 4 月
⑩ 上崎処理区	30.0	30.0	1,010	316	1,338,900	303.0	平成 15 年 4 月
⑪ 中種足処理区	56.0	56.0	2,170	509	2,055,500	717.0	平成 16 年 4 月
⑫ 川南芋白処理区	21.4	21.4	590	163	728,000	177.0	平成 17 年 4 月
⑬ 本村戸塚処理区	29.2	29.2	860	216	990,000	284.0	平成 19 年 4 月
⑭ 根古屋牛重処理区	26.0	26.0	970	239	1,098,000	320.0	平成 21 年 4 月
小計	378.5	378.5	12,630	2,952	13,006,500		
北川辺地域							
⑮ 伊賀袋処理区	10.0	10.0	300	90	131,000	90.0	平成元年 8 月
大利根地域							
⑯ 北大桑・新井新田処理区	41.0	41.0	880	206	882,600	290.0	平成 21 年 4 月
合計	553.9	553.9	17,350	4,146	17,250,500		

※総事業費は、新設時の事業費であり、改修事業費は除く。

3 令和3年度業務状況

項 目	令和3年度	令和2年度	比 較	
			増 減	比 率
計画人口 (人)	17,350		—	
公共ます設置戸数 (戸)	4,146	4,128	18	100.4%
加入戸数 (戸)	3,198	3,157	41	101.3%
加入率 (%)	77.1	76.5	0.6	100.9%
処理水量 (m ³)	904,572	936,089	△31,517	96.6%
有収水量 (m ³)	884,096	897,900	△13,804	98.5%
有収率 (%)	97.7	95.9	1.8	101.9%
使用料単価 (円)	162.5	160.4	2.1	101.3%

令和3年度における業務状況は、公共ます設置戸数 4,146 戸に対し加入戸数 3,198 戸、加入率は 77.1%となり、前年度と比較し 0.6%増加した。

また、汚水処理水量 904,572 m³に対し、有収水量 884,096 m³で、有収率は 97.7%となり、前年度と比較し 1.8%増加した。

4 農業集落排水事業 財政の状況

(1) 財政状況

□歳入

区 分	令和3年度			令和2年度		
	決算額 (円)	構成比 (%)	前年比 (%)	決算額 (円)	構成比 (%)	前年比 (%)
分担金及び負担金	8,470,000	1.2	74.2	4,862,000	0.7	83.7
使用料及び手数料	143,698,250	20.5	△0.3	144,090,125	20.8	3.3
県支出金	0	0	—	0	0	—
繰入金	508,516,000	72.6	△1.9	518,367,000	74.9	3.3
繰越金	39,580,163	5.6	62.4	24,376,208	3.5	△28.0
諸収入	283,631	0.0	△62.0	745,601	0.1	△68.4
市債	0	0	—	0	0	—
合 計	700,548,044	100	1.2	692,440,934	100	1.9

□歳出

区 分	令和3年度			令和2年度		
	決算額 (円)	構成比 (%)	前年比 (%)	決算額 (円)	構成比 (%)	前年比 (%)
総務費	64,627,059	10.1	14.4	56,481,033	8.7	10.2
維持管理費	197,077,288	30.7	△8.9	216,394,390	33.1	△3.5
公債費	379,985,348	59.2	0.0	379,985,348	58.2	0.0
予備費	0	0	—	0	0	—
合 計	641,689,695	100	△1.7	652,860,771	100	△0.4

□実質収支に関する調書

区 分	令和3年度		令和2年度	
	金 額	前年比 (%)	金 額	前年比 (%)
1 歳入総額	700,548 千円	1.2	692,441 千円	1.9
2 歳出総額	641,689 千円	△1.7	652,861 千円	△0.4
3 歳入歳出差引額(実質収支額)	58,858 千円	48.7	39,580 千円	62.4

(注) 歳入、歳出差引額等が整合しないのは、端数処理によって生じたものです。

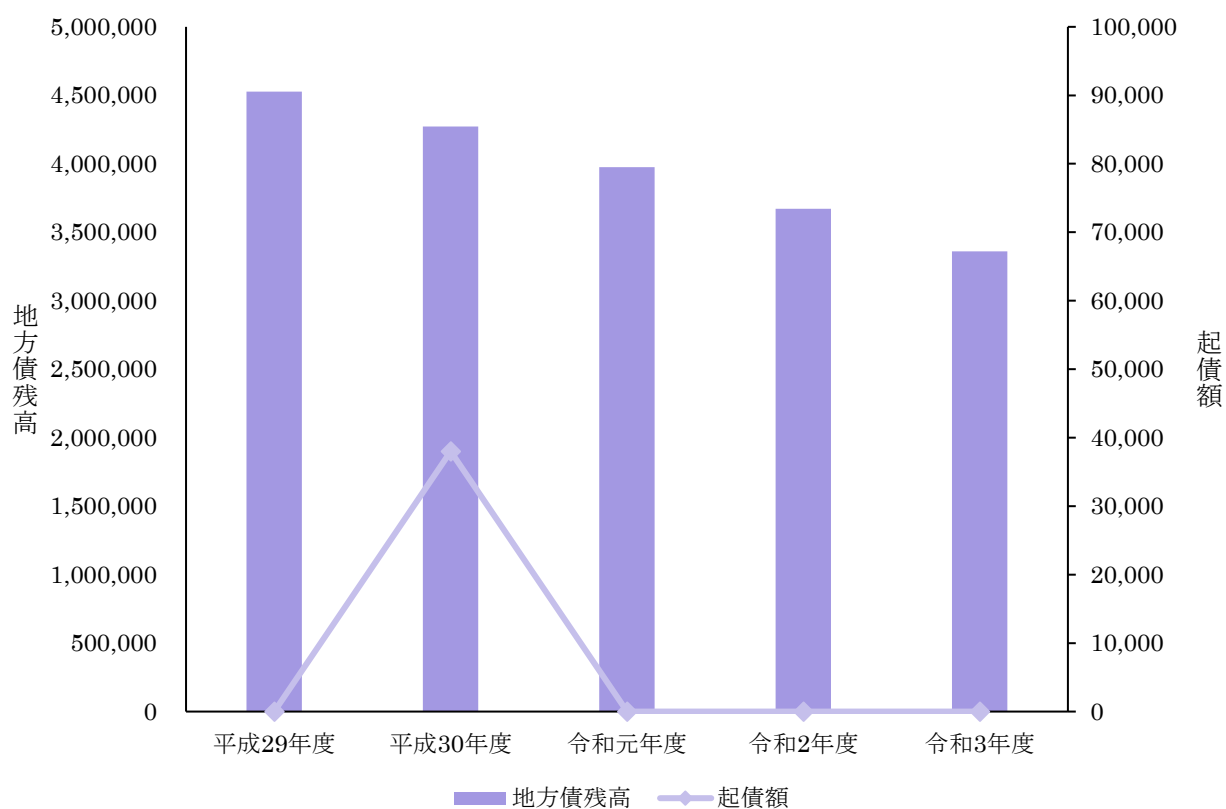
(2) 地方債現在高等の推移

(単位：千円)

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
起債額	0	38,000	0	0	0
元金償還額	286,752	292,414	298,191	304,083	310,095
利子償還額	93,036	87,381	81,788	75,902	69,890
地方債残高	4,527,121	4,272,707	3,974,516	3,670,433	3,360,338

地方債残高と起債額の推移

(単位：千円)



5 農業集落排水事業 各事務事業の実績・評価

(1) 維持管理

【第4章】豊かな自然と快適な環境のまちづくり

【第4節】快適で暮らしやすいまちをつくる

【第2項】きれいな水の再生

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	処理水のBOD (mg/ℓ以下)						
1	農業集落排水維持管理事業	【目的】 農業集落排水処理施設の適正な維持管理を行うことにより、生活環境の向上と公共用水域の水質保全を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 16処理区の適正な維持管理(水質検査・法定検査、保守点検、汚泥処理等) 123,949千円 処理施設機械設備等の修繕 31,286千円 	1・目標を達成	指標(単位)	処理水のBOD (mg/ℓ以下)						供用開始後約20年経過する未改修の処理施設もあることから、処理施設や機械設備等の計画的な改修・更新が今後の課題となる。
					年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	
	目標	10			10	10	10	10	10			
	実績	2.5			2.5							
	下水道課	【概要】 農業集落排水処理施設の適正な維持管理のため、施設の修繕、更新、保守点検、浄化槽の法定検査、水質検査等を実施する。			【評価の理由】 適切な維持管理によって、法令上の排水基準(20mg/ℓ以下)を満たすとともに、目標値を達成することができた。							

○各処理施設の水質の状況 (BOD)

(単位: mg/ℓ)

処理区名 年度	串作	大越	名倉	外田ヶ谷	下崎	上種足	中ノ目 戸室	鴻基川北	内田ヶ谷	上崎	中種足	川南芋白	本村戸塚	根古屋 牛重	伊賀袋	北大桑・ 新井新田	平均
平成29年度	1.8	2.6	2.7	1.6	2.8	1.8	2.1	1.7	2.4	3.0	2.0	3.6	1.5	2.6	10.2	2.7	2.5
平成30年度	1.5	3.3	4.9	2.1	2.1	2.2	2.3	2.7	3.0	3.0	1.6	4.0	1.9	1.6	8.1	2.5	2.6
令和元年度	1.9	4.1	7.0	1.8	2.3	1.8	1.8	1.1	0.7	3.7	1.4	2.5	1.8	2.0	9.2	2.4	2.6
令和2年度	2.0	3.5	4.5	2.8	2.2	1.5	1.7	2.5	1.6	2.4	1.6	2.7	2.3	1.7	9.8	1.7	2.5
令和3年度	3.6	4.0	4.2	2.2	1.8	1.9	1.8	1.1	1.0	2.6	1.4	1.9	1.7	2.0	11.6	2.7	2.5

※平成30年度の伊賀袋処理区は、処理施設の改修工事中であったため、仮設浄化槽による水質結果となっている。

(2) 加入促進

【第4章】豊かな自然と快適な環境のまちづくり

【第4節】快適で暮らしやすいまちをつくる

【第2項】きれいな水の再生

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和3年度の実施内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の実施内容等
					指標(単位)	農業集落排水処理施設の加入率(16処理区の平均加入率) (%)						
2	農業集落排水加入促進事業	【目的】 農業用排水路の浄化のため、 農業集落排水処理施設への加入 を促進し、快適な生活環境の確 保をめざす。	<ul style="list-style-type: none"> 加入促進計画の策定 戸別訪問による加入促進 (561件) 	2・ 概 ね 達 成	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	引き続き、未加入世帯への 戸別訪問を実施し、加入率向 上を目指す。
					目標	80.5	81.3	82.1	82.8	83.4	83.9	
	実績	76.5	77.1									
	【評価の理由】 戸別訪問を実施した結果、加入率が向上したため。											
	下水道課	【概要】 毎年度、加入促進計画を作成 し、計画に基づき、貸付制度の 周知を図りながら戸別訪問を実 施する。										

○各処理区の加入率

項目	処理区名																合 計
	串作	大越	名倉	外田ヶ谷	下崎	上種足	中ノ目 戸室	鴻基川北	内田ヶ谷	上崎	中種足	川南芋白	本村戸塚	根古屋 牛重	伊賀袋	北大桑 新井新田	
公共ます設置戸数(戸)	231	667	54	293	214	335	364	140	109	316	509	163	216	239	90	206	4,146
令和2年度(戸)	149	443	53	237	179	295	333	113	68	233	330	130	155	196	90	153	3,157
令和3年度(戸)	151	449	53	238	180	299	335	113	75	237	333	134	157	198	90	156	3,198
加入率(%)	65.4	67.3	98.1	81.2	84.1	89.3	92.0	80.7	68.8	75.0	65.4	82.2	72.7	82.8	100.0	75.7	77.1
増減(%)	0.9	0.8	0	0.3	0.1	0.4	0.3	0	2.1	1.3	0.4	1.5	0.9	0.4	0	1.1	0.6

(3) 使用料収納対策

【第4章】豊かな自然と快適な環境のまちづくり

【第4節】快適で暮らしやすいまちをつくる

【第2項】きれいな水の再生

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和3年度の実施内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	農業集落排水処理施設使用料収納率 (%)						
3	農業集落排水処理施設使用料収納対策事業 下水道課	【目的】 農業集落排水事業の貴重な自主財源である農業集落排水処理施設使用料収入を確保し、事業の健全な運営を図る。 【概要】 現年度分の未納を早期に解消し、滞納繰越額を着実に圧縮することを基本に、水道事業と連携した滞納整理対策を実施する。	・給水停止の執行(月2回) ・未納転出使用者についての調査 ・新規使用開始者に対する口座振替の勧奨 ・休日の臨宅徴収(関係課：水道課)	2 ・ 概 ね 達 成	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	農業集落排水処理施設使用料は、水道料金との同時収納という形態をとっており、その徴収事務を水道事業に委託している。このため水道事業との連携を図りながら、収納率向上に取り組んでいく。
					目標	99.7	99.7	99.7	99.7	99.7	99.7	
					実績	98.6	98.4					
					【評価の理由】 督促や催告、臨宅徴収等に取り組んだ結果、前年並みの収納率を確保できたため。							